

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習 I		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
鈴木 真吾	B309	shsuzuki		水曜日 12:10～12:50	
授業の目的・概要	<p><目的> 自分自身が目指す将来像を整理するために、心理学に基づく自己分析を行い、人間社会で起こっている現象や多様な関係性について理解し、必要な知識や技術を身につけることを目的とする。</p> <p><概要> 自己及び人間社会を理解するために、キャリア心理学に関するワーク及び調査・分析、グループワークを行い、その結果に関するプレゼンテーションを実施し意見交換をする等の演習を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	社会の中で自分らしく生きることができるよう、心理学の知識を活かし自分自身について理解を深めて欲しい。授業への積極的な参加を求める。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	キャリア心理学に関する基本的な理論や知識について理解し、説明できる。			HC(5)	
②	心理学の専門的知識を活かし、自己について理解することができる。			HC(4)	
③	心理学の専門的知識を活かし、人間社会の現象を理解することができる。			HC(5)	
④	多面的かつ効果的な工夫を凝らして、成果を発表することができる。			HC(3)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション キャリア心理学について学ぶ。	講義・演習	自己理解の基本となる自己分析について学ぶ。	2	
2	キャリア心理学と人間社会の理解 自己理解及び関心のある産業に関する知識について学ぶ。	講義・演習	自己理解及び関心のある産業に関する知識について総合的に学ぶ。	2	
3	キャリア心理学(1) 自己理解について学ぶ①。	講義・演習	自己理解に関する知識を整理する。	2	
4	キャリア心理学(1) 自己理解について学ぶ②	講義・演習	自己理解に関する知識を考察し吟味する。	2	
5	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ①。	講義・演習	関心のある産業に関する調査を行い、結果を整理、考察し発表準備を行う。	2	
6	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ②。	講義・演習	関心のある産業に関する調査を行い、発表準備、リハーサルを行う。	4	
7	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ③。	プレゼンテーション	発表及び討論を行う。発表及び討論を踏まえ、内容について整理する。	4	
8				4	
9	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ④。	講義・演習	自分自身の社会での表現方法について学び振り返りを行う。	3	
10	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑤。	講義・演習	自分自身の社会での表現方法について学びの振り返りを整理する。	3	
11	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑥。	講義・演習	自分自身の社会での表現方法について振り返りを考察しまとめる。	4	
12	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑦。	講義・演習	自分自身の社会での表現方法について発表の準備、リハーサルを行う。	6	

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

13	人間社会の理解(1) 関心のある産業と自分とのかかわりについて学ぶ⑧。	プレゼンテーション	発表、討論を行う。発表、討議を踏まえ、再度内容について整理する。	6				
14				6				
15	総括を行う。	講義・演習	これまでの授業内容を各自で整理する。	10				
試	評価のポイント参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	0	60	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	10	20	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	40	0	0	40	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法			
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
成果発表	①	✓	2回の発表内容について、キャリア心理学に関する基本的な理論や知識を理解できているか、相手に伝わる表現方法ができているか、などについて評価する。			発表後に各自に講評及び解説や補足のコメントを行う。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
その他	①	✓	ワークのまとめに関しては、コメントに沿った内容が記述できているか、読者に伝わる表現法が選ばれているかという観点で評価する。ワーク、討議の取り組みや授業へ意欲的に参加しているか、発表において他学生とのコミュニケーション力を発揮できているかについて評価する。			ワークに関しては各自にコメントを付し返却し、授業内で講評を行う。発表後に講評及び解説や補足の講義を行う。		
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	なし							
実践的授業の内容	該当せず							
そ の 他	瀧口、鈴木、高田クラスが開講される。学生は必ずいずれかの担当教員のクラスに所属すること。生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合は対面授業の参加を認めない場合もある。							